2024年度　入学試験　　第１回　午前

国　語

問　題　用　紙

［ 試験時間：50分、配点：100点 ］

（受験上の注意）

◎　開始の合図があるまで開けてはいけません。
◎　この問題用紙は全部で13ページあり、解答用紙は問題用紙の中に入っています。
◎　答えはすべて解答用紙にはっきり記入すること。
◎　解答用紙には、机の番号と受験番号と名前を忘れずに記入しましょう。
◎　声を出して読んではいけません。
◎　**問いのなかで字数に指定のあるときは、特に指示がない限り、句読点などもその字数にふくめます。**
◎　終わりの合図があったら解答用紙だけを提出してください。問題用紙は持ち帰ること。

帝 京 中 学 校

【1】次のあらすじと文章を読んで、後の問いに答えなさい。

由里絵（ゆりえ）は、高校合格時に片道一時間四十分の道を毎日歩いて無遅刻無欠席で通学することを心に決めた。通学路の途中の商店街には、なぜかカナダの国旗が結びつけられた街灯があり、由里絵は商店街をカナダ通りと心の中で呼ぶことにした。高校三年生になった初夏のある日、由里絵はケーキ屋（ソフィー）の沙織（さおり）さんに呼び止められ、ケーキをごちそうになる。由里絵はそのケーキの美味しさに感激し、涙を流した。その後、たびたびソフィーに立ち寄るようになり、沙織さんとも交流を深めていった。

秋も深まったある日。a〜ワスれられないあの日。

その日は朝から予感があった。下校時までに①決心しそうな気がしたし、決心したらソフィーにいってそのことをいわなければ気が済まないだろうというのも分かっていた。

悩（なや）み始めたのはいつの頃からだったんだろう。夏休みの前からだというのは確かだ。夏休みに予備校の夏季講習に通っている時にはもう十分に悩んでいた。

長い間悩んでいたけど、なぜかその日は、今日が決心する日だという気がした。

朝、いつものようにカナダ通りでベーカリーのおじさんや、喫茶（きっさ）店のおじさん、それに沙織さん

と挨拶を交わし、カナダ国旗を見上げ、学校まで歩いている間中ずっと考えた。授業中もずっと考え続けた。最終的な結論はでなかったけど、②その前の結論は出た。帰りにカナダ国旗を見て決心したらソフィーに寄ろうって。

下校時になり、学校を飛び出した。急ぎ足でカナダ通りを目指した。早足になった。

カナダ通りで小さなカナダ国旗を見上げた。さわやかに澄んだ秋の青空に、国旗の真ん中の赤いカエデの葉が元気にはためいていた。

フレー、フレー……。

そういってはためいているように見えた。

よし。決めた。

決心した。真っ直ぐにソフィーへ飛び込んだ。

「お帰りなさい」

沙織さんはケーキを買いにきたちょっと太めのおばさんを接客中だった。それでも声をかけてくれた。

「ただいまです……」

「いま話していた高校生って、彼女なんですよ」

沙織さんはお客さんにいった。

「あら、まあ。毎日F高まで一時間四十分もかけて歩いて通っているんですって？」

おばさんは私を［1］見回していった。

「あ、はい」

「だからそんなにスタイルがよくなったんですって？」

「え？　私がですか？」

びっくりした。［2］して沙織さんを見た。沙織さんは笑って私を見ていた。

「じゃあ沙織さんがいう通り、やっぱり歩くのが一番ね。でもだめね。ここのケーキおいしいから、いっぱい食べちゃうんだもん、いくら歩いてもダイエットできそうもないもの。じゃあ」

「いつもありがとうございます」

沙織さんは［3］笑って明るく声をかけた。

「お茶する時間ある？」

おばさんが店を出ていくと沙織さんがいった。

「お願いがあってきたんです」

顔が強張（こわば）って硬（かた）い口調になってしまった。

「どうしたの、③かしこまって」

「あの、高校を卒業したら、ソフィーで働きたいんです。ちゃんと修業して、いつか沙織さんのようにおいしいケーキとショコラを作れるようになりたいんです。何でもやりますから、④一生懸［　］頑張りますから、私を使ってください。お願いします」

勢い込んで、早口で一気にいってしまった。

沙織さんは何もいわなかった。微笑してじっと私を見ていた。

「お願いします。本当に一生懸［　］頑張りますから、私を使ってください」

必死だった。自分の一生の大事なことを、生まれて初めて自分自身で決めたのだから、本当に必死だった。他のケーキ屋さんで修業することは考えられなかった。大好きなカナダ通りの、大好きなケーキを作る沙織さんの元で修業したかった。

「やっぱりあなただった」

⑤沙織さんの微笑している目から、涙がすうっと流れた。どうして沙織さんが泣くのか不思議だった。

「初めて由里絵さんに出会って、それでウインドーガラスからのぞいている由里絵さんを目にした時に、きっとあなたじゃないかって思った」

沙織さんが何をいいたいのか分からなかった。私はただ黙って沙織さんを見つめていた。

「初めて私のケーキを食べてくれた時に、やっぱりあなただって確信した。いつかお店に余裕ができたら、一緒に働いてくれて、それで私たちのケーキとショコラ作りを受け継いでくれる人が現れるって、厚志（あつし）さんとずっと話していたの。それまで二人で頑張ろうって。それで由里絵さんが現れた時に、ああ、この人かもしれないって、そう思ったの。でも私たちの方からはいわないようにって決めてた。あなたの大事な将来のことだから、自分から本当にこの店で働きたいと思ってくれて、ケーキとショコラを作りたいって思ってくれなければ不幸になるから。でももう秋になって、由里絵さんには由里絵さんの決めた違う将来があるんだってあきらめてた。だからこの店で修業したいっていってくれて、とってもうれしいの。⑥でも楽しい仕事だけど、ラクではないのよ」

「ちゃんと考えて決心したんです。お願いします。一生懸□やりますから」

必死だったけど、すごくうれしかった。不思議に泣かなかった。必死だったので泣くなんてことまで意識が回らなかったのかもしれない。

「ありがとう、由里絵さん」

「⑦沙織さんがありがとうっていうのは変です。私がいうことですから」

「セイイッパイ（b）頑張るけど、おキュウリョウ（c）、そんなに出せないかもしれないけど、いいの？」

沙織さんが涙を手で拭いながら笑った。ものすごく美人の笑顔と、ものすごく荒れた手がアンバランスで、でもそれがすごく素敵だった。

「働かせていただけるならおキュウリョウなんて！　あ、でも、やっぱり、少しでいいですから、ほしいです……」

沙織さんは声に出さずに明るく笑ってから、d コウボウのドアを開けて厚志さんを e ヨんだ。

（光文社『透明約束』所収「カナダ通り」川上健一）

問1　a～eのカタカナを漢字に直して答えなさい。

［a ワスれ　　b セイイッパイ　　c キュウリョウ　　d コウボウ　　e ヨんだ］

問2　□1～3にあてはまる言葉として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

［ア イラッと　　イ ポカンと　　ウ クスッと
エ ヘラヘラ　　オ ジロジロ　　カ ソワソワ］

問3　――①「決心」とありますが、由里絵は何について決心しようとしていたのですか。簡潔にまとめられている部分を本文中から11字で探し、ぬき出して答えなさい。

問4　――②「その前の結論」とありますが、これはどのようなことですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　今日の帰りに必ずソフィーに寄って自分の気持ちを伝えること。
イ　長い間悩んでいたけれど、今日決心するだろうということ。
ウ　今日の帰りにカナダ国旗を見て決心をしたらソフィーに寄ること。
エ　いつか沙織さんにソフィーで働かせてほしいとお願いをすること。

問5　――③「かしこまって」とありますが、この「かしこまって」の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　礼儀正しく堅苦しい様子で
イ　もうしわけなさそうに
ウ　びくびくしておびえた様子で
エ　気持ちがこもっていないように

問6　――④「一生懸□」とありますが、□にあてはまる漢字を1字で答えなさい。

問7　――⑤「沙織さんの微笑している目から、涙がすうっと流れた」とありますが、沙織さんが涙を流したのはなぜですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　沙織さんから言いたかったのに由里絵から店での修行を提案されてくやしかったから。
イ　沙織さんのケーキとショコラ作りを受け継いでくれる人が見つかってほっとしたから。
ウ　あきらめていたのに由里絵が自分から店で修業したいと言ってくれてうれしかったから。
エ　由里絵がケーキ作りの仕事をラクな仕事だと思っていることに悲しくなったから。

問8　――⑥「でも楽しい仕事だけど、ラクではないのよ」とありますが、沙織さんの仕事がラクではないことを表現している部分を本文中から10字以内で探し、ぬき出して答えなさい。

問9　――⑦「沙織さんがありがとうっていうのは変です」とありますが、なぜですか。理由を説明しなさい。

【2】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

環境問題について考えるときは、未来の予測がつきものになる。未来予測は、いま僕らがどのように行動したら未来はどうなるか、ということを教えてくれる。それは、未来をのぞく望遠鏡のようなもの。現代に生きる僕らの行動が、将来どんな影響を及ぼすのか。仏教の教えでは□□□□という考え方があるけれど、科学による未来予測も意味合いは共通していて、僕らの行動が将来どのような影響を招くか考えること。これにより、「いま環境にわるいことをしたら、こんなわるい未来が待ってますよ」というのを市民に示すことができる。そのむかし、お寺のお坊さんは「わるいことをしたら地獄に落ちますよ」と※説法を行い、説得力を増すために地獄の情景を描いた絵を用いたりした。現代の科学者は、未来予測のシミュレーションを行い、その結果を※コンピュータグラフィックスで可視化する。①やっていることはお坊さんも科学者もおなじだ。僕らの前には行動の選択肢がある。僕らひとりひとりが未来を見据えて自分のすべきことを決めるための情報提供をしているのである。

②未来予測について、大事な事実がある。科学者はいまだにタイムマシンの開発に成功していない。だから、未来を予測しても、それが正解かどうか厳密な意味では確かめようがないのだ。「そんな不確かなものは信じられない」「未来を完璧に予測するのは不可能だから、未来予測なんてする価値ないよ」なんて言う人もいる。しかし、たとえ不完全であっても、③未来を予測することにはそれなりの価値があると思う。

とても身近な未来予測の例として、天気予報がある。天気予報のおかげで、僕らは雨を予期して

※説法…仏の教えを説き聞かせること。

※コンピュータグラフィックス…CGのこと。コンピュータを利用して画像や動画の作成から表示までを処理する技術。

傘を持ち歩いたりして、ずぶぬれになるのを避けることができる。確かに天気予報には［ i ］な価値があるだろう。しかし、天気予報はいつでも確実に当たるわけではない。朝の天気予報ではいい天気だと言っていたのに、夕方になって雨に降られたなどの経験は、みんな持っていることだろう。天気予報は、当たることもあるが外れることもある。たとえ外れることがあっても、「ないよりはずっとまし」ということには、きっとみんな同意してくれることだろう。

天気予報で明日の最高気温が三〇℃といわれても、実際には三一℃だったり、二九℃だったりすることも多い。しかし、三〇℃の予報なのに実際には二〇℃、なんてことはほとんどないだろう。未来の予測は、「だいたいこの範囲」というのを教えてくれる。その範囲の近くでずれることは多々あるけど、大きくずれることはそんなにないだろう。地球温暖化など環境問題に関する未来予測も、天気予報と似たようなものである。未来予測は、しないよりはしたほうが「ずっとまし」。予測があるからこそ、僕らは未来のために、いま行動を変えることができる。雨の天気予報に接したら傘をかばんにいれるみたいに、将来の温暖化予測に接したとき、いま行動を変えることが可能なのだ。

科学的な予測は、どのように行われているだろうか。それを知るには、※統計学という学問に触れることが重要だ。日常生活をふつうに送っているとあまり触れることのない考え方に、「④信頼区間」というものがある。たとえば、「二〇五〇年の気温上昇は（※産業革命前とくらべて）一・五℃になるだろう」という予測があったとする。これに信頼区間の考え方を加えると、「二〇五〇年の気温上昇は一・三℃から一・七℃の間に入る可能性は九〇％」のような表現になるのだ。うーん、確かにこの表現はまどろっこしい。［ ii ］に理解しづらいのは確かだ。日常生活では、「気温上昇は『およそ』一・五℃」みたいな表現をするところだ。

※統計学…データを分析して、全体の特徴を理解したり、未来の予測に役立てたりする学問。

※産業革命…十八世紀後半にイギリスから始まった技術革新による産業構造の変化および経済発展のこと。

しかし、単に「およそ」と言ったのでは、それがどのくらいの範囲を表すのか個人差が生まれてしまう。ある人は、およそ一・五℃とは一・四から一・六の範囲内と考えるかもしれない。別の人は一℃から二℃の間ならＯＫ、なんておおざっぱな考え方を持つかもしれない。解釈に個人差が生まれるような表現では、［ iii ］に考えることはむずかしい。特に地球温暖化は、全世界で何兆円という［ iv ］な予算が動く大問題である。

信頼区間で表現することができて、科学者は大いに助かっている。厳密な未来予測なんてそもそも不可能だからだ。温暖化をぴったり一・五〇℃と言い切ってしまったら、実際は一・五一℃だったとき、その予測は失敗、価値なし、ゼロ点、なんて評価を受けてしまう。それは科学者にとってとても残酷な話で、⑤そんな仕打ちが待ってるなら、未来予測なんて怖くてできない気がする。

科学者は、自分のわかっていること、わかっていないことを素直に表現することが許されている。科学者は、決して完璧な人間じゃない。ぶっちゃけ、世間で思ってるほど飛びぬけて頭が良いわけじゃない気がする（頭が良いに越したことはないけど……）。それでも研究をやって、その結果を発表できるのは、信頼区間のような⑥科学のお作法が存在するからだ。研究成果にまだまだ不確実なことが多いと信頼区間は広くなり、確実性が高まってくると信頼区間は狭くなる。もちろん信頼区間を少しでも狭めるために科学者は努力している。

（ちくまプリマー新書『二〇五〇年の地球を予測する』伊勢武史）

問1　□□□□にあてはまる四字熟語として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

［ア　一朝一夕　　イ　空前絶後　　ウ　因果応報　　エ　臨機応変］

問2　□i～ivに当てはまる語句として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

［ア　直観的　　イ　天文学的　　ウ　実用的　　エ　客観的　　オ　抽象的（ちゅうしょう）］

問3　――①「やっていることはお坊さんも科学者もおなじだ」とありますが、両者がやっているのはどういうことですか。これを説明した次の文章の□にあてはまる語句を本文中から5字以内で探し、ぬき出して答えなさい。

未来予測を通じて人々に□をしていること。

問4　――②「未来予測について、大事な事実がある」とありますが、「大事な事実」とは何ですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい

ア　未来を予測するのは、不完全であり、実は価値がないということ。
イ　未来を予測してもそれが正解かどうか確かめることができないということ。
ウ　未来の予測は不確かなものなので、人々になかなか受け入れられないということ。
エ　未来を予測するには、タイムマシンの開発に成功しなければ不可能であるということ。

問5　――③「未来を予測することにはそれなりの価値がある」とありますが、なぜ筆者はそのように考えるのですか。その理由を説明しなさい。

問6　――④「信頼区間」とありますが、それはどのようなものですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　予測結果の信頼性を高めるために、情報を区間で示す方法である。
イ　予測の正確性を保証するために、正確な情報を区間で示す方法である。
ウ　予測結果の不確かさやばらつきを示すために、情報を区間で示す方法である。
エ　予測の的中度合いを表すために、情報を区間で示す方法である。

問7　――⑤「そんな仕打ち」とありますが、それはどのようなことですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　予測が完璧でないことに対して、正しい理解や評価がなされないということ。
イ　科学者が未来予測に対して、不確実性を伝えていないと非難されること。
ウ　未来の予測をすることに対して、個人の能力の問題と否定されてしまうこと。
エ　未来の予測を失敗したことで、科学者をやめなければならなくなってしまうこと。

問８　――――⑥「科学のお作法」とありますが、それはどのようなことですか。それを説明している一文を本文中から探し、最初の７字を答えなさい。

問９　次の各文で、筆者の考えと一致するものは○、そうでないものは×を答えなさい。ただし、すべて同じ記号にしないこと。

ア　未来予測は完全な正確さを持って行われることができると説明されている。

イ　天気予報は、この先困ることに対して行動を変えるための情報を得る手段である。

ウ　科学者は、未来予測をおよその範囲で示すことに向かって努力している。

エ　未来予測の不確実性は天気予報と同様に存在する。

オ　科学者は信頼区間を使い、予測の幅や確実性を示す。

2024年度　入学試験

第1回　午前

国語解答用紙

帝京中学校

【1】

問1
a
れ
b
c
d
e
んだ

問2
1
2
3

問3

問4

問5

問6

問7

問8

問9

【2】

問1

問2
i
ii
iii
iv

問3

問4

問5

問6

問7

問8

問9
ア
イ
ウ
エ
オ

机の番号

受験番号

名前

2024年度　入学試験　帝京中学校

第1回午前

国語解答用紙

机の番号

受験番号

名前

【1】

問1
a 忘れ
b 精一杯
c 給料
d 工房
e 呼んだ
②×5

問2
1 オ
2 イ
3 ウ
②×3

問3
自分の一生の大事なこと
⑤

問4
ウ
④

問5
ア
④

問6
命
④

問7
ウ
④

問8
ものすごく荒れた手
⑤

問9
由里絵からすると、本来は雇ってもらえることになった由里絵こそが「ありがとう」と感謝の言葉を言うはずなのに雇う側の沙織さんがその言葉を言ってきたから。
⑧

【2】

問1
ウ
③

問2
i ウ
ii ア
iii エ
iv イ
②×4

問3
情報提供
⑤

問4
イ
③

問5
未来予測によっていまの私たちの行動を変えることができるから。（別解）未来を予測することで、変化に対して備えることができるから。（別解2）たとえ外れてもないよりはずっとましだから。
⑧

問6
ウ
④

問7
ア
④

問8
科学者は、自分
⑤

問9
ア ×
イ ○
ウ ×
エ ○
オ ○
②×5